

参考資料

参考資料①

日本を守る国民会議発行の「日本の愚吹」創刊号（昭和五十九年四月十五日号）に掲載された「高校「日本史」教科書編纂事業に着手——青少年に国を愛する心を」より
一昨年夏、マスコミの誤報に端を発した教科書事件は、ついに中韓両国からの外交圧力を招き教科書記述の書き換えという唯々しき事態にまで悪化しました。今春より生徒の使用する教科書には「侵略」の用語が溢れ、歴史教科書の偏向ぶりは、また一段と強化されています。

こうした事態を憂慮する声が本会議にも多く寄せられ、教育正常化運動の一環としてこの度教科書の自主編纂事業に本格的に取り組むことが決定しました。

本会では、一昨年（昭和五十七年）の教科書事件に際して、教育問題に携わる各界の有識者を招き教科書問題懇談会を開催しました（十月三十日）。その際、多くの識者から国民会議による教科書作成の意見が寄せられ（別項参照＝省略）、又、明くる昭和五十八年三月に開かれた、第二回総会においても全国の都道府県民会議から同様の要望が相次ぎました。

そこで、関係役員の間で教科書作成に必要な条件整備のため数次に亘る協議を重ねられ、この度、この事業の着手が決定されました。

当面は、高校用「日本史」教科書の作成に的を絞り、本会議に参画する学識経験者によって編集委員会を構成し、一カ年の歳月をかけて完成させたいと計画が進められております。

今回の歴史教科書編纂の事業については、次のような方針が出されております。

（一）偏向教科書の批判に止まっていた従来の反省を踏まえ、我々が目指すべき教科書を自らの手で編纂し内外に示す。

（二）良識ある教科書の配布運動を全国に広げ、父兄住民を中心とした国民の教科書是正の世論を喚起する。

（三）今回の歴史教科書の編纂に関しては、政治経済社会等の発展段階に重きをおいた記述から、日本人の精神文化の流れに着目した記述を試る。

これまで、生徒に正しい歴史を教えようと思っても実際使用出来る教科書がなかったのが実情で、そうした現場の要望に応えうる教科書を作成し、教科書是正の第一歩とすべく構想をすすめています。

しくない言い方」と批判するとともに、「各国がどのように抗議しても、日本は必ず教科書の上から過去を洗い流し、戦争発動はやむを得ざるものであり、侵略ではなかったと、長い時間をかけて国民に理解させようとするだろう」と、日本政府に対する強い不信感を表明した。

韓国の両金氏が中曽根首相に書簡／教科書・指紋押捺

【ソウル二十一日＝田中特派員】韓国の在野団体、民主化推進協議会（民推協）の金大中、金泳三共同議長は二十一日、日本の歴史教科書問題と在日韓国人に対する指紋押捺問題に関する書簡を中曽根首相に送った。韓国の野党勢力の指導者である両氏が日本の首相に書簡を送るのはこれが初めて。

両氏は書簡の中で、教科書問題については「お互いに正しい歴史観に立って問題に対処すべきだ」と主張。誤った記述は是正するよう要求。指紋押捺問題については「人権」の立場から制度自体の撤廃を求めた。

（朝日新聞、一九八六年八月一日）

天皇の教科書「新編日本史」の狙い

一九八六年十二月一日初版第一刷

編者——村上義雄

造本者——鈴木一誌

発行者——和多田進

発行所——株式会社晩聲社

郵便番号——〇〇一 東京都千代田区神田駿河台三二一山崎ビル

電話——〇三二二五五—〇〇三〇／四〇一四 振替——東京六—五〇六九六

用紙——株式会社共和洋紙店

印刷所——福音印刷株式会社

製本所——ナショナル製本協同組合

■
定価——一一〇〇円

0036-860158-6999 Murakami Y. 1986©

■
むらかみ・よしお——一九三四年東京生まれ。「朝日ジャーナル」編集委員。
著書に「学校にもっと自由を／手がかりとしてのフレンチ教育」（朝日新聞社）、
「子どもたちがタイベんだ！」（金子書房）、「子どもが見えていますか」（養父社）、
「体罰・いじめ・登校拒否・脱出へ！」（童土文化）、「教育事件」（朝日文庫）など。